

選挙の出前授業 実施報告



平成30年3月
新宿区選挙管理委員会事務局

平成29年度 出前授業・模擬投開票実施について

平成25年度
小学校1校
中学校4校

平成26年度
小学校4校
中学校5校
高等学校等1校

平成27年度
小学校10校
中学校7校
高等学校等1校

平成28年度
小学校11校
中学校7校
高等学校等4校

平成29年度
小学校15校
中学校等8校
高等学校等4校

新宿区選挙管理委員会では、将来の有権者に向けて、選挙に対する関心を高めてもらえるような出前授業を展開しています。

平成25年に小学校1校から始まった選挙の出前授業は、年々実施校が増え、平成29年度は区内小学校15校、高等学校等4校、新宿養護学校1校で実施しました。また、中学校の生徒会選挙支援として、選挙機材を7校に貸し出しました。

出前授業は、主には講義と模擬投開票の2部構成で行い、内容は各学校の要望に沿い、特色を活かして作り上げています。日ごろの総合学習の総括として投票を行ったり、教科書には掲載されていない実際の選挙の様子を講義で話したりと、内容は多岐に渡ります。

授業の特色としては、「新宿区明るい選挙推進協議会」や、早稲田大学で若者の政治参加について研究している「早大模擬選挙班」と協働で授業づくりを行っています。

明るい選挙推進委員で、実際の投票所で投票管理者や立会人を務める方に参加してもらい、本番さながらの投票体験を実現しています。また、早稲田大学の学生は、講義内容の立案から効果的な授業手法の検討まで行い、『選挙権を得て間もないお兄さんお姉さん』という立場で、児童・生徒に伝わりやすい講義を行っています。

高等学校向けの授業においては、若者と政治をつなぐ活動をしている「日本学生会議所」の学生から、初めて投票した時や選挙人名簿の存在を知った時の感想をインタビュー形式で聞くコーナーを設け、高校生に「若者のナマの声」を届けました。

来年度以降も、主権者教育の一環として、関係機関と連携を深めながら出前授業を展開していきます。

平成30年3月
新宿区選挙管理委員会事務局

平成29年度 出前授業・模擬投票開票

(1) 区立小学校への出前授業・模擬投票開票

平成29年度は前年度に引き続き、新宿区明るい選挙推進協議会や早稲田大学文学部文学科教育学コースのゼミで、政治や選挙参画に関心を持ち活動する「早大模擬選挙班」の学生と協働で授業を行いました。（平成29年度 区立小学校実施校：15校）



新宿区明るい選挙推進委員が参加した授業



早稲田大学の「早大模擬選挙班」が参加した授業

実施校	落合第一小学校		
実施日	平成29年9月4日(月) 5・6時間目	学校公開日	
場所	落合ルーム		
対象	6年生児童（62名）		
内容	講義【早大模擬選挙班】 18歳選挙権／選挙って何？／選挙権の歴史／選挙の三原則 ほか 模擬投票・開票【候補者役：児童】 「落合第一小学校 6年生 給食総選挙」 （ジャージャー麺党・みそらーめん党・冬野菜のクリーム スパゲッティ党・肉うどん党から選択。 みそらーめん党が当選。）		



開票は、一票一票入念にチェック。開票立会人の児童が見守ります。

実施校	落合第三小学校		
実施日	平成29年9月7日(木) 3・4時間目	学校公開日	
場所	体育館		
対象	6年生児童（61名）		
内容	講義【早大模擬選挙班】 18歳選挙権／選挙って何？／選挙権の歴史／選挙の三原則 ほか 模擬投票・開票【候補者役：児童】 「落合第三小学校6年生 給食総選挙」 （みそラーメン党・あげパン党・カレーライス党から選択。 みそラーメン党が当選。） 明推 早模		



ユボ紙の投票用紙に興味津々。



実施校	早稲田小学校
実施日	平成29年9月9日（土） 1時間目・2時間目
場所	体育館
対象	6年生児童（87名）
内容	講義【早大模擬選挙班】 18歳選挙権／選挙って何？／選挙権の歴史／選挙の三原則 ほかに 模擬投票・開票【候補者役：児童】 「早稲田小学校 6年生 2学期最後の給食メニュー総選挙」 （シャージャーめん党・揚げパン党・ジャンボぎょうざ党 から選択。ジャンボぎょうざ党が当選。）



投票記載台で、熟考する姿も。



実施校	余丁町小学校
実施日	平成29年9月23日（土） 3時間目・4時間目 学校公開日
場所	体育館
対象	6年生児童（61名）
内容	講義【早大模擬選挙班】 18歳選挙権／選挙って何？／選挙権の歴史／選挙の三原則 ほかに 模擬投票・開票【候補者役：模擬選挙班メンバー】 「余丁町小学校 6年生 最後の給食総選挙」（ほたてのかき揚げ丼・チキンカレーライス・みそラーメンから選択。チキンカレーライスが当選。）



立候補者演説は、早稲田大学の学生がユーモアを交えながら行いました。



実施校	東戸山小学校
実施日	平成29年9月30日（土） 3時間目・4時間目 学校公開日
場所	東戸山ホール
対象	6年生児童（44名）
内容	講義【早大模擬選挙班】 18歳選挙権／選挙って何？／選挙権の歴史／選挙の三原則 ほかに 模擬投票・開票【候補者役：児童】 「東戸山小学校 最後の給食総選挙」（カレー党・たらこスパゲティ党・揚げパン党から選択。揚げパン党が当選。投票前に栄養士が食材や栄養などメニューについての説明。）



栄養士による、各立候補者メニューのポイント解説コーナーがありました。



実施校	愛日小学校
実施日	平成30年1月12日（金） 3時間目・4時間目
場所	愛日ホール
対象	6年生児童（40名）
内容	講義【選管職員】 18歳選挙権／選挙って何？／選挙権の歴史／選挙の三原則 ほか 模擬投票・開票【候補者役：児童】 「愛日小学校6年生 地球を救おう！環境対策総選挙2018」（総合学習で学んだ環境問題について、児童6名がそれぞれのテーマ（政策）を発表。プラスチックが環境に及ぼす影響について訴えた「悪戦苦党」が当選。）



各党が、画面に写真や絵を映したり、ホワイトボードに図画しながら力説。発表にはたくさんの工夫がちりばめられていました。

実施校	戸塚第三小学校
実施日	平成30年1月20日（土） 2時間目・3時間目
場所	会議室
対象	6年生児童（25名）5年生児童(19名)
内容	講義【選管職員】 18歳選挙権／選挙って何？／選挙権の歴史／選挙の三原則 ほか 模擬投票・開票【候補者役：児童】 「新宿の未来がよりよくあるために総選挙2018」（児童が授業で学んだことをもとにそれぞれのテーマ（政策）を発表。投票は6年生のほか、6年生保護者及び5年生も行った。ポイ捨て禁止やリサイクル等を訴えた「新宿区環境党」が当選。）



廊下には、立候補党のポスター掲示板も。5年生も一緒に授業を受けました。

実施校	西新宿小学校
実施日	平成30年1月26日（金） 3時間目・4時間目
場所	ランチルーム
対象	6年生児童（34名）
内容	講義【選管職員】 18歳選挙権／選挙って何？／選挙権の歴史／選挙の三原則 ほか 模擬投票・開票【候補者役：児童】 「西新宿小学校～西新宿のまちをよりよくしよう総選挙」（児童が授業で学んだことを元に、それぞれのテーマ（政策）を発表。この日は6年生が投票したが、翌日の学校公開授業では6年生が5年生に向けて同内容の模擬投票を運営して行った。地域の緑の保護を訴えた「Green党」が当選。）



各党が作成した個性あふれる手書きの選挙公報を見ながらの演説は、とても盛り上がりました。



実施校	淀橋第四小学校
実施日	平成30年1月27日（土） 1時間目・2時間目 学校公開日
場所	淀四ルーム
対象	6年生児童(49名) 
内容	講義【選管職員】 18歳選挙権について／選挙って何？／選挙権の歴史／選挙の三原則ほか 模擬投票・開票【候補者役：児童】 「淀橋第四小学校 6年生 給食総選挙」（お好み焼き党・オムライス党・カツサンド党から選択。カツサンド党が当選。候補となった給食メニューは児童の意見をもとにした。）



自分たちで決めた立候補メニューについて、どれに投票するか迷う姿も。

実施校	鶴巻小学校
実施日	平成30年1月30日（火） 2時間目・3時間目
場所	講義：6年生教室 模擬投票・開票：児童会用教室
対象	6年生児童（25名） 
内容	講義【選管職員】 18歳選挙権／選挙って何？／選挙権の歴史／選挙の三原則 ほか 模擬投票・開票【候補者役：児童】 「鶴巻小学校 6年生 給食総選挙」（チャーハン党・みそラーメン党・あげパン党・カレーライス党から選択。あげパン党が当選。）



講義と投票開票は、それぞれ別室で行いました。

実施校	牛込仲之小学校
実施日	平成30年2月8日（木） 3時間目・4時間目
場所	多目的ホール
対象	6年生児童（41名）  
内容	講義【早大模擬選挙班】 18歳選挙権／選挙って何？／選挙権の歴史／選挙の三原則 ほか 模擬投票・開票【候補者役：児童】 「牛込仲之小学校 6年生 給食総選挙」（チャーハン党・みそラーメン党・あげパン党・カレーライス党から選択。みそラーメン党が当選。）



担任の先生が投票管理者をやりました。



実施校	戸塚第二小学校		
実施日	平成30年2月9日（金） 2時間目・3時間目		
場所	体育館		
対象	6年生児童（29名）	明推	早模
内容	講義【早大模擬選挙班】 18歳選挙権について／選挙って何？／選挙権の歴史／選挙の三原則ほか 模擬投票・開票【候補者役：児童】 「卒業を祝う会で歌う歌 総選挙！」（はじまりの党・みどりの会・さくら党から選択。3つの候補曲はあらかじめ児童の提案により決定。はじまりの党（GReeeeN『始まりの唄』）が当選。）		



児童が立候補曲を音楽プレイヤーで流しながら、情景描写豊かな演説をしました。

実施校	戸山小学校		
実施日	平成30年2月14日（水）	3時間目・4時間目	学校公開日
場所	体育館		
対象	6年生 44名		
内容	講義【早大模擬選挙班】 18歳選挙権／選挙って何？／選挙権の歴史／選挙の三原則　ほか 模擬投票・開票【候補者役：児童】 「戸山小学校6年生　給食総選挙」（カレーライス・みそバターラーメンから選択。みそバターラーメンが当選。）		



立候補政党が2党と、一騎打ちの選挙に。各メニューのオススメポイントを栄養士に取材し、演説内容に盛り込みました。

実施校	市谷小学校		
実施日	平成30年2月15日（木） 5時間目・6時間目		
場所	体育館		
対象	6年生児童（72名）	明推	
内容	講義【選管職員】 18歳選挙権について／選挙って何？／選挙権の歴史／選挙の三原則ほか 模擬投票・開票【候補者役：児童】 「市谷小学校6年生最強の給食メニュー総選挙」（あげパン党・みそラーメン党・ジャンボぎょうざ党から選択。あげパン党が当選。）		



どのメニューが「最強」か、休憩中に周囲と相談する姿も。



実施校	落合第二小学校		
実施日	平成30年2月17日（土）	2時間目・3時間目	学校公開日
場所	講義：パソコン室 模擬投開票：体育館		
対象	6年生 53名		
内容	講義【選管職員】 18歳選挙権について／選挙って何？／選挙権の歴史／選挙の三原則ほか 模擬投票・開票【候補者役：児童】 「落合第二小学校6年生～わたしたちの落合～『落合議員選挙』」（児童が考えた地域の課題「地場産業、バリアフリー、交通安全、環境緑化」を候補者役児童が演説会で訴えた。当選は、地場産業を通じた地域活性化を訴えた「前田染太郎」。）		



地域と一体となって実施した授業となりました。

選挙公報(一例)



選挙公報(一例)



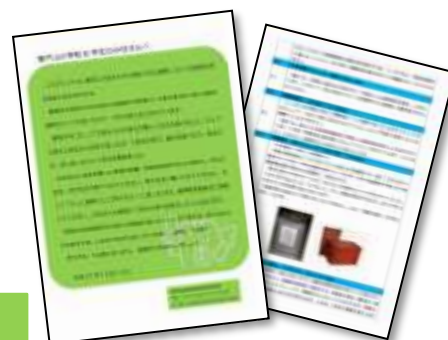
氏名等掲示(一例)



投票所整理券(一例)



質問回答集



投票済証(一例)



配付した投票用紙見本(ユポ紙)



授業前に集めた児童の質問
に対して、各校ごとに回答
集を作成しました。



(2) 区立中学校生徒会選挙等への支援

生徒会選挙等の学校選挙向けに、実際の選挙で使用している機材を貸し出しています。選挙公報の作成から投開票の運営まで、生徒が中心となって実施しています。

学校名	落合第二中学校	7月19日
	新宿西戸山中学校	9月8日
	西新宿中学校	9月12日
	牛込第三中学校	9月13日
	牛込第二中学校	9月15日
	四谷中学校	9月21日
	落合中学校	9月29日
支援内容	投票記載台・投票箱・腕章の貸出	



(3) 新宿養護学校等への支援

今年はじめて、新宿養護学校の中学部生徒に向けて、模擬投票の出前授業を行いました。

実施校	新宿養護学校
実施日	平成29年11月7日（火） 午後1時40分～午後2時30分
場所	中学部教室
対象	1～3年生 7名
内容	模擬投票・模擬開票【給食メニュー選挙】 投票の方法について／養護学校教諭によるデモンストレーション／ 模擬投票（投票従事者は選管職員及び教諭）／選管職員による模擬開票／結果発表



(4) 高等学校等への支援

「18歳選挙権」にあわせ、新宿区では区内の高等学校等に向けた出前授業・模擬投票を行っています。投票の方法や情報収集の方法等、実際の選挙に即した新有権者向けの講義を行っています。

実施校	東放学園高等専修学校
実施日	平成29年4月7日（金） 午前11時～午前11時45分
場所	視聴覚室
対象	3年生 37名
内容	講義【選管職員】 投票に行ってみよう／投票先はどうやって決める？／身近な話題から社会を考えよう 



実施校	東京都立新宿高等学校
実施日	平成29年5月17日（水）午後2時15分～午後3時5分
場所	視聴覚室
対象	3年生 320名
内容	講義【選管職員】 投票に行ってみよう／選挙クイズ／候補者情報の集め方／若者と政治のかかわりを考える   



講義は、新有権者へのオリエンテーションと題して、実際の投票の様子や、若者の政治参加について、最新情報を話しました。



実施校	東京都立戸山高等学校
実施日	平成29年7月10日（月） 午後2時～午後4時
場所	講義・模擬開票：講堂 模擬投票：講義室
対象	1年生 363名
内容	講義【選管職員】 投票に行ってみよう／投票を体験しよう ／若者と政治のかかわりを考える 模擬投票・開票【候補者役：生徒3名】 「戸山区長選挙」 候補者による立会演説・シンキングタイム・模擬投票（投票従事者は明るい選挙推進委員）・模擬開票（開票立会人及び開票従事者は生徒）・生徒による模擬投票の感想



実施校	目白研心高等学校
実施日	平成30年1月24日（水） 午後1時30分～午後3時15分
場所	研心館
対象	2年生 257名
内容	講義【選管職員】 投票に行ってみよう／若者と政治のかかわり ※日本学生会議所学生へのインタビュー 模擬投票・開票【候補者役：生徒3名】 「目白区長選挙」 候補者による立会演説・シンキングタイム・模擬投票（投票従事者は明るい選挙推進委員）・模擬開票（開票立会人及び開票従事者は生徒）・生徒による模擬投票の感想



大学生を招き、初めて行った投票の感想や、社会とのかかわりについて、話してもらいました。

(5) 手をつなぐ親の会への支援

今年初めて、知的障がいを持つ有権者とその保護者の方を対象に、模擬投票体験を行いました。

実施日	平成29年6月10日（土） 午後1時30分～午後3時
場所	障害者福祉センター
対象	新宿区手をつなぐ親の会会員及び子弟
内容	投票に行こう！～投票所内のルールと家族・支援者の役割～ DVDの上映 模擬投票・ 当日の投票所とほぼ同じセットを設営し、「受付（名簿対照）→用紙交付→投票記載→投票箱への投函」の順に投票を体験する。 代理投票の手続きについて説明し、模擬投票を体験する。



児童の感想文(抜粋)

体験をして関心が持てたので、18歳になるまでに政治についてしっかり勉強したい。

また別のテーマで選挙をしてみたい。

数々の問題を切り抜けて道を誤らないように、みんなが投票しに行くことが大切だと思った。

投票用紙（ユポ）が特殊な素材で、もっと知りたくなった。

自分で立候補演説をして楽しかったです。投票するとき、誰に入れるかすごく悩みました。

選挙に行くことは、国や地域みんなの考えを知ることだとわかった。

模擬投票をやってみて、あっという間に終わり簡単でした。おじいちゃんおばあちゃん、友人に選挙の体験を話してみます。

もう少しで選挙権が与えられるので、その権利を無駄にせず使っていきたいと思いました。

開票の機械が早くてすごい！実際の選挙では夜遅くまで、手作業や機械の作業で素早く丁寧に正確にできるよう工夫しながら開票をしているということがわかった。

選挙のやり方を知ったので安心して将来選挙に行ける。練習になった。

選挙、そして政治に興味を持ったので、自分でインターネットとかで調べたい。

まずこれから親が行く投票所についていき、模擬投票との違いを見てみようと思いました。

開票の時に、票を何重にもチェックしていたのがすごいと思いました。

周りの人の気持ちも考えて投票しなければならないと緊張しました。

18歳になるまでに、しっかりと自分の意見を実現してくれる政治家を選ぶ目を養いたい。

6年後に向けていまからできることを授業で学んだので、いきなり選挙について話すのは難しいけれど、新聞を読んだり町のポスターを見たりして考えを見つけていきたいです。





2013年(平成25年)から始まった選挙の出前授業—

「早大模擬選挙班」と連携した実施も、今年で5年目を迎えました。

今年度、ともに授業を行った大学生メンバーに、出前授業への思いを聞いてみました。

早大模擬選挙班とは



2013年度の早稲田大学文学部教育学コースにおけるゼミ活動の中で発足。政治や選挙について関心のある学生が集まり、模擬選挙を通じた政治教育・主権者教育の可能性、また若者の政治参加を目指すための研究および実践への取り組みをスタートした。

2014年度以降はゼミの枠を超え、教育学コース公認の「自主ゼミ」という形で活動を続けている。この組織の活動の原点である、「若者と政治や選挙について考えるにあたって、若者である自分たちがまず動いてみるのが大切なのではないか、自分たちに何ができるのだろうか」という視点、そして政治や選挙を身近なものとして捉えられるように発信していきたいという方向性は、現在の活動においても、その軸として継承されている。

山田.. 楽しかったですね、大変でしたけど。僕は今年度から初めての参加だったので、もちろん最初は緊張しましたが、改善しなければならぬと授業後に感じることは多かったです。でも、事務局の方々と模擬選挙班のメンバーと打ち合わせ・リハーサルを重ねて出前授業を行い、児童からアンケートで「面白かった!」とか「将来選挙に行きたいと思った」とか「意外と簡単でびっくりした」とか、そういったレスポンスをもらえると「ああ、やってよかったな」とやりがいを感じますね。



—実際に児童の前で授業をやっていたいかがでしたか?

安藤.. 普段触れ合う機会のない小学生と、一緒に選挙について考える機会を持つことができた貴重な経験でした。また学校ごとに違う児童の特性にも触れることができたです。

賀茂…大勢の小学生の前で話すことも、選挙について考えることも今までの大学生活ではなかったことなので、私自身すごく貴重な経験になりました。最初は緊張の連続でしたが、だんだん慣れてくると楽しもう余裕も出てきて、より良い授業にするために自分自身で試行錯誤できたかな、と思います。自分の頑張りのおかげで、子ども達の反応を通して直に感じることもできて、やりがいを感じました。

三重野…私は今年初めて授業をしたので、不安な部分もありました。でも、その不安はすぐに無くなりました。児童に質問を投げかけてみると、挙手をしてくれたり、その場ですぐ答えたりしてくれて、楽しく授業をすることができました。また、小学生はとっても元気で素直だなあと感じました。授業後の感想文には、慣れない漢字を一生懸命使って沢山書いてくれていて、とても嬉しかったです。

小川…あまり人前で話す機会がないので、初めはとても緊張しました。もっと児童の反応を見て臨機応変な授業を展開できるようにになりたいと思います。

今年卒業を迎える安藤さん(右)から、次世代リーダーの賀茂さん(左)へ、講義のノウハウだけでなく、組織全体の考え方や取り組み姿勢を引き継ぐ。



各学校の児童から寄せられた感想・質問に目を通す山田さん(右)と三重野さん(左)。児童の率直な意見に手ごたえを感じながら、次年度への構想を語る。

「講義内容を構成するなかで、工夫したところはありますか？」

安藤…私たち大学生も同じ「学校で学んでいる立場」であることを意識し、児童に対して問いかけを入れるなど『一緒に選挙について考えよう』という授業内容にしました。

山田…出前授業を行う小学校によって児童の特色が異なっていて、ある小学校ではすごく反応が良くて何を喋っても大爆笑だけど、別のところでは全くウケないということがあります。そのため、そういう児童の違いを打ち合わせ段階で事前に共有して、授業のやり方を柔軟に変えていきました。でも結局は、実際に授業を行ってみないと子どもたちの本当の雰囲気はわからないので、もう本当にその場その瞬間で、どういう距離感がベストかを考えて言葉遣いや接し方を変えていましたね。

賀茂…自分自身が言葉の意味を正しく理解した上で児童に説明することを心がけました。

三重野…パワーポイントの文字通りに読むだけでなく、児童にはわかりやすく、噛み砕いて説明しました。良い言葉、適切な言葉を探し出すのは難しかったです。授業後の感想を見ると、「○○ということがよく分かった。」と書いてくれている子が何人かいて、ホッとしました。

小川…選挙に親しみをもちてもらうために、ただ受けるだけでない授業にしたいという意識を持っていました。

「模擬投票をやって、いかがでしたか？」

安藤…児童の中には、親と一緒に投票所に行った経験がある子が多数いましたが、実際に本物の機材に触れるのは初めてということで、児童たちにとって印象に残る経験だったのではないかと思います。

山田…僕自身見るのが初めてだったので「これ、おもしろ!」と思いましたね。僕は、「選挙」はやり方がわからないしなんか難しそうというイメージを抱いていて、選挙に行くことを逡巡していたことがあったので、この体験を小学生のうちにできたら「あ、選挙って簡単じゃん」って思えて将来選挙に行けるんじゃないかな。

賀茂…実際の機材に触れることによって、私にとっても児童にとっても選挙がより身近に感じる貴重な経験になったのでは、と思います。模擬投票を通して、児童たちが将来の選挙についてイメージがわきやすくなってもらえれば嬉しいです。



一年生ながらも堂々と講義を行った小川さん（左）。授業で気づいた点や自身で研究した成果を今後に活かしていきたい、と意欲的に語る。

三重野…児童は、自分の意見を最後の給食や、卒業の歌などの自分に関わる事に反映させる為に、真剣な顔で投票してました。彼らが初めて投票する6年後の為に、このように実際に使う器具で模擬投票を行う事は、とても良い経験になると思います。特に初回は、私にとっても投票箱や記載台は勿論のこと、普段目にするものの出来ない物の組み立ての段階から触れることのできる、貴重な時間になりました。

小川…本当の選挙と同じ設備でとてもリアルに感じました。開票まで目の前で見るので、自分が投票した一票がどうなるのかという実感がわきました。

ー未来の有権者に向けてメッセージをどうぞ。

安藤…若者の投票率は低迷していますが、これから自分たちも生きていく社会をより良くするために、自分の意思を「投票」を通して伝えることは重要だと思います。

山田…これ、政治家がやるやつじゃない？僕らがメッセージするの？笑メッセージかぁ、選挙簡単だよー笑

賀茂…将来選挙権を持った時に、この授業での経験が少しでも生きてくれれば嬉しいです。またいつかは、皆さんが周りに選挙の大切さを伝える存在になってくれればもっと嬉しいです！

三重野…住んでいる町がこうなったらいいのにな。こんな風に思ったことがある人は沢山いると思います。そんな願いを叶える為の一步が投票です。18歳になつたら、投票所に行ってみて下さい！
小川…6年後に選挙権を持った時にこの授業を思い出してもらえればとても嬉しいです！



今年度も
選挙管理委員会より
感謝状を贈呈しました！



